



道の駅ごか駅長代理 兼 ごかみらいLab所長
竹政 敏明さん

道の駅ごかは町のシンボリック的存在として町外からも人が訪れるスポットとして多くの人にご利用いただいています。しかし、建物も16年経過して古くなり、経営にも若干マンネリ化を感じることもありました。加えて昨年からのコロナ禍の影響を受けて残念ながら集客も落ち込んでいます。

そのような状況の中、ごかみらいLab設立は、新しい風を起こして変化を生み出すいいきっかけとなるのではないかと考えています。

みんなが自慢できるような特産品を生み出すことができれば、町のPR、イメージアップにもつながりますし、道の駅ごかの売上げ増にも貢献してくれるでしょう。

また、特産品がふるさと納税の返礼品になれば町への寄附金を見込むこともできます。ふるさと納税については町の独自性を打ち出し、返礼品のラインナップを見直すことで、寄附額を伸ばす余地がおおいにあると思っています。

ごかみらいLab設立に合わせてインターネット環境の再整備を図り、これからホームページのリニューアルも予定しています。近年利用が多くなっているインターネット販売も強化していきたいです。

まずは町内生産者のみなさまに私たちの存在を知ってもらうことから始めます。いろいろな方々と、お互いに力を出し合い町を元気にしていきたいです。

人口減が続き、特に若い人が町外に出て行ってしまっていることに危機感を抱いています。活力のある元気な五霞町を未来へつなげていけるように、微力ながら尽力していきたいです。



2021年4月 ごかみらいLabがスタートしました

「道の駅ごか」から まちを元気に

五霞町を元気にしたい

元気なまちってどんなまちを想像しますか？

大人も子どもも笑顔であふれるまち。外から人がたくさん訪れるまち。いろいろな人に応援してもらえるまち。いろいろなカタチがあります。

五霞町では元気なまちを目指して、新たな地域活性化事業を展開するために、「道の駅ごか」を管理運営する株式会社五霞まちづくり交流センター（以下、センター）と連携して、センター内に新しい部署「ごかみらいLab（通称みらラボ）」を設立しました。

新しい拠点を整備することで、地域資源の掘り起こしや、町の農産物を使用した商品開発等を展開し、さらなる町の活性化を図ります。

五霞町で一番人の集まる場所「道の駅ごか」から元気なまちづくりを進めます。

官民連携のまちづくり

ごかみらいLabはセンターの職員2名と町役場からの出向職員2名で構成されます。

公的機関として公平性を求められる町がこれまでなかなかできなかったことを、民間企業であるセンターがそのノウハウ

を生かし、町と連携しながら実践していきます。官と民がそれぞれの強みを生かして新しい試みにチャレンジしていきます。

人と人をつないでいく

地域の方々、生産者、町内企業の関係者、町に関わる多くの人とコミュニケーションをとりつなげていく。つながることで新しい可能性が生まれます。まちづくり、ひとつづりで地域の発展につなげ、まちを元気にします。



ごかみらいLabのみなさん

- 右から
- 関根 美帆さん
- 折原 光飛さん
- 竹政 敏明所長
- 鶴見 秀子さん